

今こそ、福井をかがやかせる時だ。

福井県の グリーンボンド インパクト レポーティング

令和6年8月 福井県

北陸新幹線
福井・敦賀^{つるが}開業
2024

3.16 SAT

もくじ

1 福井県の目指す姿

- | | |
|------------------|---|
| (1) 福井県長期ビジョンの概要 | 3 |
| (2) 令和6年度 重点施策 | 4 |

2 福井県とSDGsの関わり

- | | |
|------------------|---|
| (1) 福井県のSDGsの取組み | 7 |
| (2) 次世代育成に向けた取組み | 8 |
| (3) 福井県環境基本計画 | 9 |

3 福井県グリーンbondのご紹介

- | | |
|---------------------------|----|
| (1) 令和5年度 グリーンbond発行概要 | 11 |
| (2) 令和5年度 グリーンbond投資表明投資家 | 12 |
| (3) 令和5年度 資金充当状況・環境改善効果 | 13 |
| (4) 令和5年度 資金使途詳細 | 14 |

1 福井県の目指す姿

(1) 福井県長期ビジョンの概要



「安心のふくい」を未来につなぎ、もっと挑戦！もっとおもしろく！

安心と信頼のふくい

先人たちが守り伝えてきた歴史・文化、豊かな自然や食、
家族や地域のつながり、充実した子育て・教育環境、
安定した産業・雇用 など

幸福度
日本一

教育力
日本一



2040年に福井県が目指す姿

SDGs(誰一人取り残さない、多様性と包摂性のある持続可能な社会)の理念に沿いながら、
3つの姿を目指します

自信と誇りのふくい

「ふくいらしさ」を伸ばし、
外に開いて人を呼び込む。

誰もが主役のふくい

多様な個性を大事にし、
みんなが自分らしく輝く。

飛躍するふくい

変化をチャンスに、
しごととくらしを創造。

基本
目標

しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい

「幸福度日本一」の質の高いくらしを実現する、新時代の活力と楽しさあふれるふくいを築きます

(2) 令和6年度 重点施策

新幹線効果の最大化・持続化

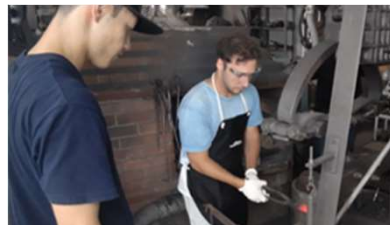
観光地の磨き上げ



東尋坊ビジターセンターイメージ

・東尋坊の魅力向上や、アウトドアを軸とした六呂師高原の再開発など、民間企業や市町と連携した観光地の磨き上げ

インバウンド拡大



外国人観光客による伝統工芸体験

・免税店登録やキャッシュレス決済対応機器を導入する事業者に対し経費の全額を支援
・予約手配の専門家が、海外旅行会社等からの問い合わせと県内の観光事業者をマッチング

誘客プロモーション強化



北陸デスティネーションキャンペーンの実施

・「北陸デスティネーションキャンペーン」を実施（10月～12月）
・全国のお城ファンの誘客を進める「お城イベント」の開催や、全国的に話題性の高い将棋タイトル戦の誘致

二次交通の充実



バスの交通系ICカード

・新たに交通系ICカードを導入した路線バスの利用促進のため、秋に無料乗車デーおよびモバイルスタンプラリーを開催
・新幹線駅等の駅待ちタクシーを確保し、運転手確保に向けて企業退職予定者の二種免許取得を支援

日本一幸福な子育て県「ふく育県」のさらなる拡大

日本一の「複育応援」



ふく育県イメージ

・第2子保育料無償化や第2子以降の在宅育児応援手当にかかる所得制限を撤廃
・子どもを2人以上扶養する世帯に対し、県立・私立高校の授業料無償化、県内大学等進学者等の授業料の一部を県独自に減免

地域全体での子育てサポートを強化



安心な子育て環境イメージ

・モニタリング事業等を通じ改善点の把握に努めながら「ふく育さん」や「ふく育タクシー」の利用促進
・ヤングケアラー当事者が悩み等を共有できる機会の拡充や保育人材の確保など、子どもも親も安心な子育て環境づくり

(2) 令和6年度 重点施策

暮らしの質の向上

防災・減災対策の強化



低コスト工法講習会

- ・能登半島地震を踏まえ、木造住宅の耐震診断や耐震改修工事等に対する補助制度を大幅に拡充、低コスト工法による耐震改修などの普及啓発を強化
- ・避難所の環境づくりに向けて施設の改修や防災資機材の整備等を行う市町を支援

社会生活基盤の整備



福井港丸岡インター連絡道路

- ・中部縦貫自動車道県内区間全線開通の一日も早い実現に向けた取組みや、福井港丸岡インター連絡道路の早期完成に向けた整備
- ・地域の声に対して迅速に対応できるよう、道路や河川などの小規模な緊急修繕等について、新たに枠予算を創設

長期ビジョンの着実な推進

魅力的な教育環境づくり



新学部棟イメージ

- ・県立大学において、令和7年度の恐竜学部（仮称）の開設に伴い、新学部棟の本体工事に着手
- ・高校生の探究的な学びを推進するため、探究成果合同発表会等の開催や、探究活動資金確保に向けたクラウドファンディング活用等を支援

地域経済のイノベーション



ワークスペースイメージ

- ・新幹線駅周辺において県内企業や都市圏企業の活動拠点となるインキュベーション施設の整備を支援するとともに、県の企業支援チームやクリエイター等が協働し、成長や新しい価値づくりに取り組む企業を応援

林業の活性化



- ・継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、活力ある森林を次世代につなげていくため、「全国育樹祭」を開催（10月）
- ・「育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地」を大会テーマとして、各種行事を開催

脱炭素社会の推進



太陽光発電イメージ

- ・二酸化炭素の排出抑制と再生可能エネルギーの地産地消・普及拡大に向けて、太陽光発電および蓄電池設備の導入を新たに支援
- ・若年層の次世代自動車購入の支援や、自動車学校における次世代自動車への転換促進により、運輸部門の「ゼロカーボン化」を推進

2 福井県とSDGsの関わり

(1) 福井県のSDGsの取組み

■ 福井県SDGsパートナーシップ会議を令和2年8月に創設

長期ビジョンに掲げたSDGsの理念に沿って持続可能な地域づくりを推進する官民連携プラットフォーム

【活動コンセプト】 **未来のために。～次の世代に選ばれる福井へ～**

- ・ 1,148の機関（企業、団体、教育機関、自治体など）が参画
- ・ フォーラムを開催（年1回）、SNSを活用した情報交換

■ 県民からの公募によりオリジナルロゴマークを作成

- ・ R2年度 デザイン公募（応募総数 467件）
- ・ R3年度 愛称公募（応募総数 1,152件）
- ・ パートナーが名刺やHPに掲載、ロゴマークを活用した商品を開発・販売



愛称: ジュナナ

■ SDGs未来都市への選定（令和3年5月）

【テーマ】 **「次世代に選ばれる『しあわせ先進モデルふくい』の実現」**

「福井の未来を担う次世代の育成」を取り組みの中心に位置づけ、官民一体となって人材育成

■ 県民×企業×行政の協働推進体制を強化

- ・ R5年度 SDGsディレクターと、
SDGsコーディネーター（3名）を配置
- ・ 企業や団体を訪問し、課題発掘や解決に向けた具体的な連携の提案・サポート等を実施



紅ズワイガニの殻を活用した調味料オイルの開発

(2) 次世代育成に向けた取り組み

■ 教育機関とSDGsパートナーの連携を促進

- ・ R3年度 学校との連携に積極的なパートナーのリストを作成し、HPで公開
- ・ パートナー登録企業等が持つ技術やノウハウ、ネットワークを活かして **学生向けの新しい学習・体験プログラムを作成、出前授業を実施**
 - ▶ R5年度は、環境面の課題である「地球温暖化対策」をテーマに子どもたちが楽しみながら学ぶことができる **ボードゲームの作成・販売**



■ SDGs講演会の開催 (R5年度)

- 1部：講演会
- 2部：SDGsパートナー企業・団体の取組紹介・交流会
 - ⇒ 生徒・教員×企業や企業×こども食堂 等、様々なつながりを創出

■ ふくいSDGsリーフレットを作成・学校に配布 (R5年度～)

- ・ 福井県出身美術家 長坂真護さんの取組紹介
- ・ 福井駅周辺の「SDGsなもの」を紹介
 - ⇒ 校外学習や探究の授業等で活用
 - 図書館や県庁ホール等にて展示



(3) 福井県環境基本計画

- 本県は、「福井県環境基本条例」の基本理念に基づき、環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、1997年に福井県環境基本計画を策定
- 地球温暖化対策など持続可能な社会の実現に向けて、これまでの施策の成果や県民意識の変化も踏まえ、2023年に新たな計画を策定

福井県環境基本計画(2023年度～2027年度)

基本目標：次世代につなぐ豊かで美しいふくいの環境

地球温暖化対策の推進

【削減目標】

- ✓ 2050年の温室効果ガス排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）を目指す
- ✓ 2030年度の温室効果ガス排出量を49%削減（2013年度比）
- エネルギー源の転換、省エネの推進等
- 再生可能エネルギーの導入拡大
- 森林等の吸収源対策
- 適応策の推進
- 県の事務・事業における温室効果ガス排出削減

自然と共生する社会づくりの推進

- 自然とふれあう活動の推進
- 里山里海湖の自然再生と活用
- 生物多様性の保全

生活環境の保全

- 一般廃棄物の減量化とリサイクル推進
- 産業廃棄物の減量化とリサイクル推進
- 廃棄物の適正な処理の推進

循環型社会の推進

- 水・大気環境の保全
- 化学物質対策の推進
- 放射性物質の監視

各分野に共通する施策の推進 (環境を支える人づくり・地域づくり)

- 誰もが学べる環境教育の推進
- 活力と資源が最大限に活かされる地域づくりの促進
- 環境に配慮した活動の促進

3 令和5年度 グリーンボンド発行概要

(1) 令和5年度 グリーンボンド発行概要

北陸の自治体で初となるグリーンボンドを発行

- 本県では、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、省エネルギー化、再生可能エネルギーの導入などを進めるとともに、気候変動への適応策を推進。これらの施策を推進するための資金調達として、グリーンボンドを発行

債券の名称	福井県令和5年度第6回公募公債（グリーンボンド）
発行額	50億円
発行日	令和5年10月26日
償還日	令和15年10月26日
利率	0.850%
発行価格	額面100円につき100円
期間	10年（満期一括償還）
利払い日	毎年4月26日、10月26日
主幹事	みずほ証券（事務）、SMBC日興証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券
適合性評価	第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版への適合性について、評価を取得

(2) 令和5年度 グリーンボンド投資表明投資家

- 投資表明件数80件と、多くの投資家から福井県の取り組みに賛同・共感をいただきました

令和5年度 グリーンボンド投資表明投資家 80件（内、県内投資家57件）

県内投資家				県外投資家	
No.	投資家名	No.	投資家名	No.	投資家名
1	株式会社アスピカ	30	福井県織物工業組合	1	石川県信用保証協会
2	あわら市	31	福井県機械工業協同組合	2	延命寺
3	池田町	32	公益財団法人 福井県グローバル人材基金	3	大阪特殊合金
4	イーゲート株式会社	33	一般財団法人 福井県産業会館	4	沖縄県信用保証協会
5	井上商事株式会社	34	社会福祉法人 福井県社会福祉協議会	5	カナカン株式会社
6	イワイ株式会社	35	一般社団法人福井県労働福祉会館	6	JA 共済連（全国共済農業協同組合連合会）
7	株式会社エイチアンドエフ	36	福井コンピュータホールディングス株式会社	7	公益社団法人 滋賀県看護協会
8	永平寺町	37	社会福祉法人 福井市社会福祉協議会	8	静岡県
9	越前信用金庫	38	学校法人 福井仁愛学園	9	公益財団法人 自動車リサイクル促進センター
10	越前たけふ農業協同組合	39	一般社団法人 福井人絹倶楽部	10	独立行政法人住宅金融支援機構
11	越前町	40	株式会社福井新聞社	11	信金中央金庫
12	小浜信用金庫	41	福井信用金庫	12	一般社団法人しんきん保証基金
13	カラヤ株式会社	42	福井中央魚市株式会社	13	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林保険センター
14	合同設備工業株式会社	43	福井テレビ	14	吹田市
15	鯖江市	44	福井鋳螺 株式会社	15	株式会社浪速ポンプ製作所
16	株式会社 関組	45	福井放送株式会社	16	日本コープ共済生活協同組合連合会
17	医療法人 千寿会	46	福井矢崎サービス 株式会社	17	株式会社日本貿易保険
18	大和電建株式会社	47	株式会社 富士屋	18	東山口信用金庫
19	株式会社土田鶏卵	48	株式会社北陸環境科学研究所	19	ひろしま農業協同組合
20	敦賀信用金庫	49	株式会社 松下薬局	20	北海道信用金庫
21	株式会社デリーエッグツチダ	50	松文産業 株式会社	21	株式会社みずほ銀行
22	株式会社ナカテック	51	株式会社 道端組	22	株式会社三菱UFJ銀行
23	ナック・ケイ・エス株式会社	52	南越前町	23	株式会社みなと銀行
24	株式会社 西村組	53	横山電機株式会社		
25	日本真空化学株式会社	54	吉岡幸株式会社		
26	株式会社ノベルティアイウェア	55	ヨシダ工業株式会社		
27	東角建設株式会社	56	学校法人 霊泉寺学園		
28	株式会社福井銀行	57	社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会		
29	福井県医師信用組合				

(五十音順)

(3) 令和5年度 資金充当状況・環境改善効果

北陸新幹線の整備、災害時の緊急輸送道路となる中部縦貫自動車道の整備を中心に資金を充当

ICMA原則上の事業区分	充当事業	充当額（百万円） （充当割合）	想定される環境改善効果
クリーン輸送	■ 北陸新幹線の整備 （北陸新幹線負担金）	3,500（70.0%）	■ 59,000t-CO2/年*
エネルギー効率	■ 照明のLED化 （長寿命化対策事業（県立高校））	22（0.4%）	■ 整備箇所：3箇所 ■ 導入台数：603台 ■ 電力削減量：32,665.4（Kwh/年） ■ CO2排出削減量：15.9（t-CO2/年）
	■ 照明のLED化 （LED式交通信号灯器移行事業）	123（2.5%）	■ 導入台数：車両灯器 394台 歩行者用灯器 398台 ■ 電力削減量：434,077.2（Kwh/年） ■ CO2排出削減量：211.4（t-CO2/年）
生物自然資源及び 土地利用に係る 環境持続型管理	■ 県立大学先端増養殖学科 開設事業	601（12.0%）	■ 先端増養殖学科学生数：120名（4学年定員） ■ 想定就職先：漁業協同組合、食品会社、水産加工会社、環境調査会社、公設試験研究機関、官公庁
	■ 林道整備	43（0.9%）	■ 整備実績：林道開設 1路線 ■ 整備距離（令和5年度）：594m
		55（1.1%）	■ 整備箇所：61箇所
気候変動への適応	■ 災害時の緊急輸送道路となる 中部縦貫自動車道の整備	656（13.1%）	■ 整備距離：大野～油坂間35km
合計		5,000（100%）	

※独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構「北陸新幹線（金沢・敦賀間）事業に関する再評価」を参照

(4) 資金使途詳細 ～北陸新幹線の整備～

敦賀までの開業が一日も早く実現するよう、県内区間の事業の進捗を図る

ICMA原則上の事業区分	充当事業	整備内容	想定される環境改善効果
クリーン輸送	■ 北陸新幹線の整備 (北陸新幹線負担金)	■ 北陸新幹線金沢・敦賀間の整備 (R6.3.16開業)	■ CO2排出削減量： 59,000t-CO2/年*

※独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構「北陸新幹線（金沢・敦賀間）事業に関する再評価」を参照

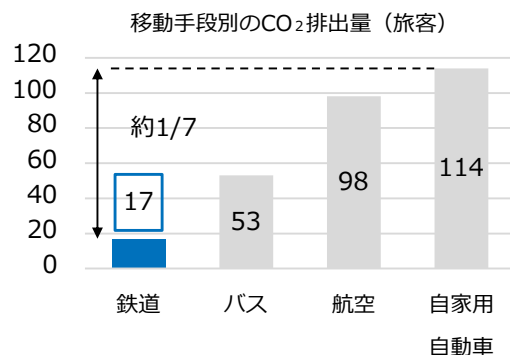
北陸新幹線の整備（北陸新幹線負担金）

金沢・敦賀間（福井県内区間）の工事概要

整備期間	2012～2023年度末
総工事費	約1兆6,779億円（うち県内事業費：約1兆1,200億円）
工事延長	114.6km（うち県内区間：74.4km）

- 新幹線をはじめとする鉄道は、輸送量当たりの二酸化炭素排出量（旅客）が、航空の約1/5、自動車の約1/7であり、他交通機関と比べて環境に優しい交通機関

- 北陸新幹線の延伸（金沢・敦賀間）により航空機、バスや自動車から新幹線に旅客が転移した場合、年間約59,000t-CO2の排出量削減が見込まれる



出典：令和元年度温室効果ガス排出量（確報値）について（令和3年4月 環境省）



(4) 資金使途詳細 ～照明のLED化～

照明のLED化などを進め、時代に即し、環境に配慮した県有施設を整備

ICMA原則上の事業区分	充当事業	整備内容	想定される環境改善効果
エネルギー効率	■ 照明のLED化 (長寿命化対策事業 (県立高校))	■ 蛍光灯からLED照明への更新	<ul style="list-style-type: none"> ■ 整備箇所：3箇所 (武生高校、三国高校、武生商工高校) ■ 導入台数：603台 ■ 電力削減量：32,665.4 (Kwh/年) ■ CO2 排出削減量：15.9 (t-CO2/年)
	■ 照明のLED化 (LED式交通信号灯器移行事業)	■ 電球式信号灯器からLED式信号灯器への更新	<ul style="list-style-type: none"> ■ 導入台数：車両灯器 394台 歩行者用灯器 398台 ■ 電力削減量：434,077.2 (Kwh/年) ■ CO2 排出削減量：211.4 (t-CO2/年)

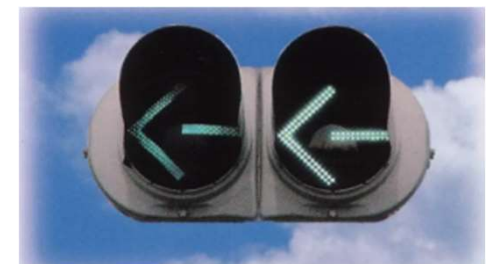
照明のLED化 長寿命化対策事業 (県立高校)

- 武生高校、三国高校、武生商工高校3校の蛍光灯をLED照明へ更新
- 総導入台数603台のLED照明により、年間で電力削減量3万2,665Kwh、CO2排出削減量15.4tの効果を見込む

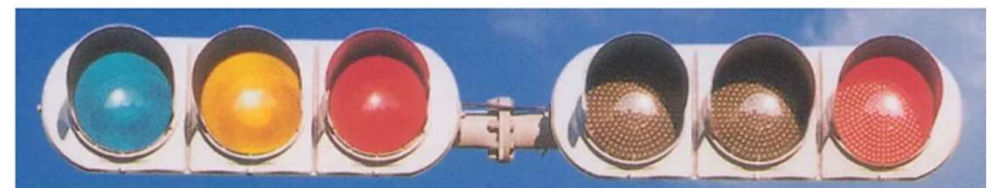


LED式交通信号灯器移行事業

- 福井県内の交通信号へのLED照明の導入
- 車両灯器394台、歩行者用灯器398台の計792台の更新を実施
- 年間で電力削減量を約43万4千Kwh、CO2排出削減量211.4tの効果を見込む



電球式信号灯器 LED式信号灯器



電球式信号灯器

LED式信号灯器

(4) 資金使途詳細 ～県立大学先端増養殖学科開設事業・林道整備～

- ・ 持続可能な水産業の発展のため、県立大学に先端増養殖学科棟等を建設
- ・ 森林資源の有効活用のため、林道の開設、改良、老朽化対策等を実施

ICMA原則上の事業区分	充当事業	整備内容	想定される環境改善効果
生物自然資源及び 土地利用に係る 環境持続型管理	■ 県立大学先端増養殖 学科開設事業	■ かつみキャンパス 新学科棟、 飼育実験棟建設	■ 先端増養殖学科学生数：120名（4学年定員） ■ 想定就職先：漁業協同組合、食品会社、水産加工会社、 環境調査会社、公設試験研究機関、官公庁
	■ 林道整備	■ 林道の新規開設	■ 整備実績：林道開設 1路線 若狭遠敷線 ■ 整備距離（令和5年度）：594m
		■ 既存林道改良	■ 整備箇所：林道改良 鈕ヶ岳線ほか 60箇所

県立大学先端増養殖学科開設事業

- 2023年夏、新学科生の学びの拠点となる学科棟・飼育実験棟が完成
- 県水産試験場と同一敷地内に整備することにより、最先端かつ実践的な水産技術を学ぶことが可能
- 民間企業との共同研究において、学生が企業の先端的な研究を学びながら実習やインターンシップ、研究へ参画



かつみキャンパス

林道整備

- 県内の森林資源は本格的な利用期を迎え、資源量が年々増加しているが、十分に利活用されていない
- それらの資源を有効活用していくためには、低コストでの森林整備を進めていくことが必要
- 林道を中心とした路網を整備することにより、高性能林業機械による生産性の向上や大型トラック等の利用による木材搬出の低コスト化を推進



若狭遠敷線

(4) 資金使途詳細 ～緊急輸送道路 中部縦貫自動車道の整備～

大雨や大雪など、自然災害発生時の代替道路となる中部縦貫自動車道を整備

ICMA原則上の事業区分	充当事業	整備内容	想定される環境改善効果
気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の緊急輸送道路となる中部縦貫自動車道の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 調査設計、用地補償、工事（整備工、改良工、舗装工、橋梁工、トンネル工） 	<ul style="list-style-type: none"> 整備距離：大野～油坂間 35km

災害時の緊急輸送道路となる中部縦貫自動車道の整備

- 大野油坂道路は、中部縦貫自動車道の一部を構成する、大野市東市布から中津川に至る約35kmの自動車専用道路
- 高速道路ネットワークを形成するとともに、安定した交通の確保、地域・観光資源を活かした地域経済の活性化、医療活動の支援を目的とする。現在、国土交通省によって整備が進められている

中部縦貫自動車道の整備効果

北陸圏、関東圏、中京圏、関西圏を結ぶ 広域ネットワークの構築

- 移動時間・距離の短縮
- 災害時における広域的な迂回路の確保



地域経済の活性化 ～企業立地の促進・観光客の増加～

- 企業立地の促進と市場の拡大
- 観光客の誘致促進・増加



地域生活の安全・安心の確保

- 医療機関へのアクセス向上
- 安定した交通路の確保



福井県債に関するお問い合わせ先

- 福井県 総務部 財政課
- 住所 〒910-8580 福井県福井市大手 3 丁目17番 1 号
- TEL 0776-20-0233
- FAX 0776-20-0629
- Email : zaisei@pref.fukui.lg.jp
- HP : <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/zaisei/zaisei09.html>

